

京都大学 2011 年(文・前)第 3 問

任意の整数 n に対して、 $n^9 - n^3$ は 9 で割り切れることを示せ。

京都大学 2014 年(理・前)第 5 問

自然数 a, b はどちらも 3 で割り切れないが、 $a^3 + b^3$ は 81 で割り切れる。このような a, b の組 (a, b) のうち、 $a^2 + b^2$ を最小にするものと、そのときの $a^2 + b^2$ の値を求めよ。

東京大学 2016 年(文・前)第 4 問

以下の問いに答えよ。ただし、(1)については結論のみを書けばよい。

(1) n を正の整数とし、 3^n を 10 で割った余りを a_n とする。 a_n を求めよ。

(2) n を正の整数とし、 3^n を 4 で割った余りを b_n とする。 b_n を求めよ。

(3) 数列 $\{x_n\}$ を次のように定める。

$$x_1 = 1, \quad x_{n+1} = 3^{x_n} (n = 1, 2, 3, \dots)$$

x_{10} を 10 で割った余りを求めよ。

東京大学 2014 年(理・前)第 5 問

r を 0 以上の整数とし、数列 $\{a_n\}$ を次のように定める。

$$a_1 = r, \quad a_2 = r + 1, \quad a_{n+2} = a_{n+1}(a_n + 1) (n = 1, 2, 3, \dots)$$

また、素数 p を 1 つとり、 a_n を p で割った余りを b_n とする。ただし、0 を p で割った余りは 0 とする。

(1) 自然数 n に対し、 b_{n+2} は $b_{n+1}(b_n + 1)$ を p で割った余りと一致することを示せ。

(2) $r = 2, p = 17$ の場合に、10 以下のすべての自然数 n に対して、 b_n を求めよ。

(3) ある 2 つの相異なる自然数 n, m に対して、 $b_{n+1} = b_{m+1} > 0, b_{n+2} = b_{m+2}$ が成り立ったとする。

このとき、 $b_n = b_m$ が成り立つことを示せ。

(4) $a_2, a_3, a_4, \dots$ に p で割り切れる数が現れないとする。このとき、 a_1 も p で割り切れないことを示せ。